

○総務省訓令第 号
電波法関係審査基準の一部を改正する訓令を次のように定める。
令和 年 月 日

総務大臣 高市 早苗

電波法関係審査基準の一部を改正する訓令
電波法関係審査基準（平成13年総務省訓令第67号）の一部を次のように改正する。

（下線の部分は改正部分）

改 正 後	改 正 前
<p>別紙1 無線局の局種別審査基準（第4条関係） 〔第1～14 略〕</p> <p>第15 アマチュア局 〔1～5 略〕</p> <p>6 送信装置の審査は、次の基準により行う 〔(1)～(9) 略〕</p> <p><u>10</u> 現に免許を受けている無線局の送信装置の外部入力端子に附属装置を新たに接続する場合は、無線局事項書の15の欄にその旨の記載があること。 なお、現に免許を受けている無線局であつて、送信装置の外部入力端子に附属装置が接続されている場合は、無線局事項書の15の欄にその旨が記載されていることとみなす。</p> <p>〔7～18 略〕</p> <p>19 無線設備の設備共用は、次によること。 〔(1) 略〕</p> <p>(2) <u>社団局同士（無線技術に対する理解と関心を深めるため社団が行事の開催に伴い臨時に開設するアマチュア局は除く）の設備共用</u>及び固定する局と移動する局の設備共用は認めない。</p> <p>〔(3) 略〕</p> <p>〔20～23 略〕</p> <p><u>24</u> 無線技術に対する理解と関心を深めるため社団が行事等の開催に伴い臨時に開設するアマチュア局</p> <p>(1) 次の条件に適合すること。</p> <p>ア 申請者は、営利を目的とするものでなく、無線技術に対する理解と関心を深めることを目的として通信を行おうとする社団であること。</p> <p>イ 行事等の趣旨・内容等は、政治的又は宗教的なものではなく、並びに相当の公共性を有するものであること。</p> <p>ウ 無線従事者が立ち会うものであること。</p>	<p>別紙1 無線局の局種別審査基準（第4条関係） 〔第1～14 同左〕</p> <p>第15 アマチュア局 〔1～5 略〕</p> <p>6 送信装置の審査は、次の基準により行う 〔(1)～(9) 略〕</p> <p><u>[新設]</u></p> <p>〔7～18 同左〕</p> <p>19 無線設備の設備共用は、次によること。 〔(1) 同左〕</p> <p>(2) <u>社団局同士の設備共用</u>及び固定する局と移動する局の設備共用は認めない。</p> <p>〔(3) 同左〕</p> <p>〔20～23 同左〕</p> <p><u>[新設]</u></p>

<p>エ 開設期間は、行事等の開催期間からみて適当なものであること。</p> <p>(2) 次に掲げる事項を確認できる書類を申請書に添付するものであること。</p> <p>ア 立ち会う無線従事者の氏名及び無線従事者免許証の番号を記載した書類</p> <p>イ 当該行事等に伴う無線局の開設について主催者の同意を得ていることが確認できる書類</p> <p>[<u>25</u>～<u>31</u> 略]</p>	<p>[<u>24</u>～<u>30</u> 同左]</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------

附 則

この訓令は、令和 年 月 日から施行する。